

事業番号	14 04 11	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	特別支援学校就労支援総合事業費			担当課	部局	教育委員会事務局
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 5 すべての子どもの学びを保障する支援		課・室	特別支援教育課	
	施策の総合的展開			E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	～	

## 1 事業の概要

目指す姿	特別支援学校生徒の地域での社会自立や職業自立を進めるために、社会生活や職業生活に必要な能力や態度を育てるとともに、将来の就労につながる現場実習先事業所数の拡大、職場体験実習の推進を図りながら、適切な進路指導を目指す。 成果目標：産業現場等における実習において、一般企業で実習をした生徒が、実際に一般就労した割合 62.8% (H23)→65.0% (H29)																																																	
現状	○経済状況の悪化による求人倍率の低下、単純組立作業等の業種の減少等、就職を取り巻く環境の悪化による就職者数の減少。 ：高等部卒業生(本科)就職者数71名、就職率 21.7% (H23) ○高等部生徒の求める進路と一般企業が求める仕事内容の差が大きく、現場実習は可能でも就職に結びつかないケースが多い。																																																	
県が関与する理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他( )		<input checked="" type="checkbox"/> 【左記の説明、根拠法令等】 特別支援学校高等部学習指導要領																																															
事業内容	① 成果目標(H24)																																																	
	○産業現場等における実習において、一般企業で実習をした生徒が、実際に一般就労した割合 63.1% ：H23年度実績とH29目標との差をH27までは0.3%引上げ、H28から0.5%の引上げ																																																	
	② 事業内容 (単位：千円)																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">実施方法</th> <th rowspan="2">H24事業実績</th> <th colspan="2">H24</th> <th>H25</th> </tr> <tr> <th>(当初)</th> <th>(決算)</th> <th>(当初)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関係機関と連携した産業現場等における実習先の拡充と新たな雇用の場の創出</td> <td>直接</td> <td>・障害者職域拡大アドバイザー、ハローワークとの連携 ・特別支援学校早期訓練コースの活用</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>企業への理解啓発の推進</td> <td>直接</td> <td>・県経営者協会、中小企業中央会等との連携 ・長野労働局・職業安定所と連携した就労セミナーの開</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>産業現場等における実習事業</td> <td>直接</td> <td>・民間企業等の協力を得て、現場実習の実施 高等部生徒の現場実習(1年後期、2・3年前期・後期)</td> <td>3,402</td> <td>3,099</td> <td>3,402</td> </tr> <tr> <td>就労サポーター配置事業</td> <td>直接</td> <td>・就労サポーターを特別支援学校7校(長野、稲荷山、上田、安曇、松本、伊那、飯田)に配置</td> <td>13,330</td> <td>11,971</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>松本ろう学校における職業教育の推進</td> <td>直接</td> <td>・聴覚障害者が専門的知識・技能を身につけて職業自立、社会自立するため、専攻科に実習用パソコン等を配置し、職業教育を実施</td> <td>1,840</td> <td></td> <td>1,840</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>18,572</td> <td>15,070</td> <td>5,242</td> </tr> </tbody> </table>						項目	実施方法	H24事業実績	H24		H25	(当初)	(決算)	(当初)	関係機関と連携した産業現場等における実習先の拡充と新たな雇用の場の創出	直接	・障害者職域拡大アドバイザー、ハローワークとの連携 ・特別支援学校早期訓練コースの活用				企業への理解啓発の推進	直接	・県経営者協会、中小企業中央会等との連携 ・長野労働局・職業安定所と連携した就労セミナーの開				産業現場等における実習事業	直接	・民間企業等の協力を得て、現場実習の実施 高等部生徒の現場実習(1年後期、2・3年前期・後期)	3,402	3,099	3,402	就労サポーター配置事業	直接	・就労サポーターを特別支援学校7校(長野、稲荷山、上田、安曇、松本、伊那、飯田)に配置	13,330	11,971	0	松本ろう学校における職業教育の推進	直接	・聴覚障害者が専門的知識・技能を身につけて職業自立、社会自立するため、専攻科に実習用パソコン等を配置し、職業教育を実施	1,840		1,840	合計			18,572	15,070
項目	実施方法	H24事業実績	H24		H25																																													
			(当初)	(決算)	(当初)																																													
関係機関と連携した産業現場等における実習先の拡充と新たな雇用の場の創出	直接	・障害者職域拡大アドバイザー、ハローワークとの連携 ・特別支援学校早期訓練コースの活用																																																
企業への理解啓発の推進	直接	・県経営者協会、中小企業中央会等との連携 ・長野労働局・職業安定所と連携した就労セミナーの開																																																
産業現場等における実習事業	直接	・民間企業等の協力を得て、現場実習の実施 高等部生徒の現場実習(1年後期、2・3年前期・後期)	3,402	3,099	3,402																																													
就労サポーター配置事業	直接	・就労サポーターを特別支援学校7校(長野、稲荷山、上田、安曇、松本、伊那、飯田)に配置	13,330	11,971	0																																													
松本ろう学校における職業教育の推進	直接	・聴覚障害者が専門的知識・技能を身につけて職業自立、社会自立するため、専攻科に実習用パソコン等を配置し、職業教育を実施	1,840		1,840																																													
合計			18,572	15,070	5,242																																													
事業コスト	区 分(単位：千円)																																																	
	予算額	前年度繰越																																																
		当初予算	25,137	26,841	18,572	5,242																																												
		補正予算	-453	-1,494																																														
		合計(A)	24,684	25,347	18,572	5,242																																												
	Aの財源	国庫支出金																																																
		県債																																																
		その他(繰入金)	19,708	21,270	13,330																																													
		一般財源	4,976	4,077	5,242	5,242																																												
	決算額(B)	19,777	24,407	15,070																																														
概算人件費	職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30																																													
	概算人件費(C)	2,495	2,477	2,477	2,477																																													
	概算事業費(B(A)+C)	22,272	26,884	17,547	7,719																																													
成果目標の達成状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">現況(見込)</th> <th colspan="3">H24</th> <th rowspan="2">H25目標</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>成果</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般企業で実習をした生徒が、実際に一般就労した割合</td> <td>62.8%</td> <td>63.1%</td> <td>57.0%</td> <td>未達成</td> <td>63.4%</td> </tr> </tbody> </table>						項目	現況(見込)	H24			H25目標	目標	成果	達成状況	一般企業で実習をした生徒が、実際に一般就労した割合	62.8%	63.1%	57.0%	未達成	63.4%																													
項目	現況(見込)	H24			H25目標																																													
		目標	成果	達成状況																																														
一般企業で実習をした生徒が、実際に一般就労した割合	62.8%	63.1%	57.0%	未達成	63.4%																																													
目標に対する成果の状況	○障害者職域拡大アドバイザーやハローワークと連携し、県経営者協会や中小企業中央会等の協力を得て、産業現場等における実習の事業所数を増加させた。(H23延べ1096→H24延べ1100) ○就労サポーターを知的障害特別支援学校7校に配置し、就労先や実習先の開拓、産業現場等における実習の支援を行った。 ○産業現場等における実習では一般企業での実習も増加した(H23年113人→H24年128人)が、生徒の希望と企業の要望とのすり合わせが難しく、就労にむすびつかないこともあった。																																																	

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ○職域拡大アドバイザーを活用して、県経営者協会や中小企業中央会等の方々に直接、特別支援学校を見てもらったり、生徒の様子を知ってもらったりする機会を設け、産業現場等における実習の拡大につなげていく。 ○商工労働部や技術専門学校との連携を強化し、進路指導主事と直接話す機会を設け、特別支援学校早期訓練を積極的に活用するようにしていく。
---------------------	---